

### 3 生涯学習・社会教育

#### 基本目標 学びの成果を活かせる生涯学習の推進

#### 基本施策1 生涯学習・社会教育活動の充実

状況	<p>公民館等での事業・講座については、地域課題の解決や現代的課題に対応する内容、住民の生きがいづくりにつながる内容等を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2021年（令和3年）5月から、状況に応じて、約5か月間の公民館等で行う講座の開催や貸室を停止した。利用者が安心して活動できるよう、感染症対策を徹底して利用を再開している。</p> <p>図書館については、蔵書の整備をはじめ、利用者の多様なニーズに応じた資料の収集や提供、情報の発信、レファレンス（調査・相談）、電子図書の貸出を行った。また、新型コロナウイルス感染状況に応じて、図書の通常貸出、館内閲覧を制限し、開館を継続した。制限解除後も不特定多数の集まる行事は中止し、館内座席数を制限するなど、感染防止対策を講じながら運営を行った。</p>
主な取組	<p>(1) 公民館等での学習機会の充実</p> <p>(2) 誰もが気軽に利用できる図書館の充実</p>

#### [評価]

一部達成	<p>新型コロナウイルス感染防止のための利用停止により、公民館等利用者数は減少したが、生涯学習に係る情報提供として全館で発行している学習情報紙の発行は継続。ふくやま・まちづくり大学*等でオンラインを活用した講座を開催するなかで、市民が自宅等からでも学習できる環境づくりに取り組んだ。</p> <p>図書館においても、館内閲覧等のサービス制限に伴い、利用者が減少したが、蔵書整備を計画的に行い、利用者の要望に応じた幅広い分野の図書を揃え、あらゆる年代が読書に親しむ環境を整備している。また、電子図書貸出サービスの導入、郷土資料等のデジタル化、インターネットを活用した情報発信など時代の変化、利用者の新たなニーズに応じた取組を進めた。</p>
------	---

#### [基本施策に関する指標（数値目標）]

項目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値 2021年度
1	公民館等利用者数	1,106 千人	1,083 千人	1,033 千人	571 千人	431 千人	1,145 千人
2	図書館利用者数	1,631 千人	1,595 千人	1,455 千人	1,104 千人	945 千人	1,800 千人

（項目説明）

- 1：講座への参加やサークル活動、会議等、様々な目的で公民館を利用した人数。  
 2：貸出だけでなく、調べ物や行事への参加等で、図書館へ来館した人数。

[今後のアクション]

公民館等では、感染症対策を徹底し、会議やサークル等の活動の開催方法を工夫するなど、利用者の協力を得る中で、地域活動や学習活動等を継続できるよう取り組む。また、公民館への公衆無線LANの設置を進め、利用者がWi-Fiを活用できる環境を整えるとともに、主催事業において多様な学習活動を充実させるように取り組む。

図書館では、感染防止対策を行いながら、利用者が安心して利用できるように努める。予約図書の出借、団体向けのセット貸出、電子図書貸出サービスの利用について、新たな利用者の獲得のための情報発信など、利用者のニーズや社会動向を注視しながらサービス満足度の向上に取り組む。

主な取組		(1) 公民館等での学習機会の充実	
概要等	課題	今後の方針	
公民館等での学習機会の充実			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館等において住民の学習ニーズに応えるとともに、現代的課題や地域課題に視点を置き、その解決とまちづくり推進のための講座を実施した。</li> <li>○各自治会を単位として、日常生活における様々な人権問題や地域課題等をテーマに、人権意識の向上のための学習会等を開催した。</li> <li>○子育て中の親等を対象に、家庭教育の充実に向けて、保育所等で『親の力』をまなびあう学習プログラム*を活用した出前講座（以下、「親プロ」出前講座」という。）を実施した。</li> <li>○地域住民の協力を得て、小学校等で放課後等に安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民との交流活動や学習等を行っている。 2021年度（令和3年度）は21教室実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者や年齢層が固定化傾向にある。学習内容や実施方法の工夫が必要である。</li> <li>○地域課題を人権の視点から捉え、さまざまな人権問題へとつなげていくための学習展開を検討する必要がある。</li> <li>○「親プロ」出前講座の活用を促進するため、公民館等だよりや保護者会等を通して情報提供が必要である。また、オンラインを活用した学習方法の導入が必要である。</li> <li>○放課後子ども教室*では、協働活動サポーターを対象に、教室の安全な運営につながる研修の開催が必要。また、参加児童が減少し運営が困難な教室の活動内容の工夫や人材の確保・育成に取り組む必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的課題や地域課題の解決に向けて住民の学習意欲を喚起するとともに、様々な学習ニーズに応えられるよう、必要に応じてオンラインでの学習機会の開催に努める。また関係各課や大学、NPO等と連携して、社会の変化に対応できるような取組を推進する。</li> <li>○各地域振興課*毎に子育てサポーターリーダー*が協力して出前講座を進行できる体制を整えるとともに、オンラインでの学習方法に対応できるようスキルアップに取り組む。</li> <li>○放課後における子どもたちの安心安全な居場所づくりのため、学校等と連携し感染症対策を徹底するなかで、放課後子ども教室の活動を継続させられるよう取り組む。</li> </ul>	

概要等	課題	今後の方針			
<b>生涯学習情報の提供</b>					
<p>○地域振興課や公民館等で行われる講座等をホームページで公開することで、学習機会の提供を図った。</p> <p>○地域振興課*発行の学習情報紙や公民館等だよりを定期的に発行することにより、学習情報や地域活動の周知、人権啓発につながった。</p>	<p>○市民が生涯学習情報を容易に得られるよう、地域振興課や公民館等のホームページの充実が必要である。</p> <p>○学習情報紙の掲載内容を精査し、読みやすく市民にとって効果的な情報提供となるよう工夫する必要がある。</p>	<p>○市民にとってより効果的な情報提供となるよう、ホームページの掲載内容を工夫することで、幅広い世代に対して情報を発信する。</p>			
<b>実績数値</b>					
<b>【公民館の利用状況】</b>					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
延べ利用件数	93,545件	92,051件	89,687件	62,950件	45,401件
<b>【地域別住民学習会への参加状況】</b>					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
参加者数	21,429人	21,171人	20,337人	4,421人	3,965人
参加率	17.1%	17.0%	16.4%	—	—
2020年度（令和2年度）、2021年度（令和3年度）は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、人数制限や会場制限、学習資料を全戸配布し家庭学習とした自治会（町内会）があり、人数等の比較はできない。					
<b>【「親プロ」出前講座の参加者の状況】</b>					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
参加者数	1,250人	835人	1,355人	178人	128人
<b>【学習情報紙の発行部数】</b>					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
地域振興課学習情報紙	123,969部	124,680部	126,000部	42,040部	41,210部
公民館・交流館だより	1,380,475部	1,367,520部	1,343,634部	1,309,007部	1,344,923部

主な取組	(2) 誰もが気軽に利用できる図書館の充実	
概要等	課題	今後の方針
<b>蔵書の整備</b>		
<p>○福山ゆかりの人物、ばらのまち福山ミステリ-文学新人賞*やばらに関する資料を収集し、「福山らしさコナ-」などをつくり資料を効果的に配置した。</p> <p>○閲覧雑誌最新号のカバー等にスポンサー広告を掲載し、雑誌の充実を図った。</p>	<p>○予約状況や市民の要望を把握する中で蔵書の整備・充実を図る必要がある。</p>	<p>○資料の充実を図るため、市民の要望の把握に努め、広範かつ体系的に収集するとともに、郷土資料の収集に努め、郷土の情報を広く利用者に発信する。</p>

概要等	課題	今後の方針
多様な図書館ニーズへの対応		
<p>○デジタルアーカイブシステムで「広報ふくやま」や新聞の地域版の閲覧ができるよう、順次整備している。</p> <p>○レファレンスサービス（調査・相談）や市民へのビジネス相談会や講座等を行っている。</p> <p>○電子図書による外国語資料の充実を図った。また来館が難しい住民へ身近に図書を届けるサービスとしてコンテンツを増やした。</p>	<p>○ホームページのほか Facebook など様々な媒体を活用し、引き続き、館内展示や講座等の情報発信を行う必要がある。</p> <p>○ビジネス相談会をはじめとした、特色のあるサービスを引き続き提供する必要がある。</p> <p>○外国人と利用が少ない 10 代への PR を効果的に行い、利用を促進する必要がある。</p>	<p>○研究や調査に必要な資料を提供するほか、日常で調べたいことへの相談に応じるなど、レファレンス機能の充実を図る。</p> <p>○ビジネスセミナーや相談会など、市民のニーズに応じたビジネス支援サービスを充実する。</p> <p>○小中学生が学習端末等を利用し、電子図書を読むことができるようニーズに合った選書を行う。また、電子図書に雑誌読み放題サービスを加える。</p>
子どもの読書活動の推進		
<p>○読書に親しんでもらうため図書館職員が学校等でお薦め本の紹介などを実施した。</p> <p>○小中学校の総合的な学習や、児童生徒の読書活動に向けた図書の貸出しを行った。</p>	<p>○ブックトークなどを行う場合は、子どもの興味・関心等について、事前に学校等と連携し、把握する必要がある。</p>	<p>○保護者やボランティア向けの講演会やおはなし会等を開催するほか、訪問を通じた学校等での読み聞かせや本の紹介など、子どもが読書に親しむ環境を整備する。</p>

#### 実績数値

##### 【貸出状況】

区分	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
全蔵書冊数	1,190,034 点	1,191,541 点	1,188,972 点	1,150,951 点	1,145,162 点
図書の貸出冊数	3,134,347 冊	3,034,401 冊	2,698,670 冊	2,358,644 冊	1,906,783 冊
図書館のセット貸出	22,641 冊	24,580 冊	28,114 冊	27,429 冊	24,868 冊
予約貸出数	397,220 件	403,316 件	397,393 件	488,365 件	601,797 件

##### 【多様な図書館ニーズへの対応状況】

区分	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
レファレンスサービス	8,336 件	8,119 件	8,199 件	5,214 件	4,332 件
図書館 HP のアクセス件数	1,839,241 件	2,208,157 件	2,217,288 件	1,864,990 件	1,850,764 件
図書館職員の学校等への訪問回数	73 回	80 回	63 回	24 回	9 回
電子図書貸出数	—	—	—	目標：3,750 点 実績：6,419 点	目標：7,500 点 実績：49,712 点



放課後子ども教室の様子（塗り絵）



屋外でのおはなし会の様子



## 基本施策2 学習成果を地域で活かせる環境の整備

状況	<p>活力ある地域のまちづくりを推進するため、地域活動や家庭教育支援等に携わるボランティア等の人材が求められており、ボランティアの養成講座等により人材を育成するよう取り組んだが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、地域活動や様々な学習活動が実施できず、活躍の機会を設定することが困難であった。</p> <p>図書館や学校等では「読み聞かせ」などの図書活動を行うボランティア団体・サークルの育成、支援とネットワークづくりを行っている。</p>
主な取組	<p>(1) 地域で活動する人材の育成</p> <p>(2) 学習成果を活動につなげる仕組みづくり</p>

### [評価]

一部達成	<p>指標である子育てサポーターリーダー*については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、出前講座実施数が減少したことから、目標値を下回った。</p> <p>しかし、実施した出前講座においては「親プロ」出前講座に子育てサポーターリーダーが推進役として参画し、学習成果を地域活動に還元する機会となった。</p>
------	---

### [基本施策に関する指標（数値目標）]

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	目標値 2021年度
1 子育てサポーターリーダーの参画率	60.6%	64.0%	67.4%	25.0%	28.0%	75.0%

(項目説明)

1：「子育てサポーターリーダー」登録者が、出前講座へファシリテーターとして参画をした割合。  
(2021年度(令和3年度)は登録者89人中25人が参加。)

### [今後のアクション]

感染症対策の工夫をした講座の開催だけでなく、オンライン等を活用するなかで、引き続き地域で活動する人材の育成や、住民同士のつながりをつくるよう工夫し、学習成果を地域で活かせる環境づくりに努める。



子育てサポーターリーダー  
養成講座の様子



「親プロ」講座実施の様子

主な取組	(1) 地域で活動する人材の育成				
概要等	課題			今後の方針	
地域で活動する人材の育成					
<p>○「福山ばら大学」*「ふくやま・まちづくり大学」*等の開催により、地域で活動する人材の育成に取り組んだ。</p> <p>○福山市生涯学習振興基金*を活用して、主体的に生涯学習活動に取り組んでいる市民団体を支援した。</p> <p>○「親プロ」出前講座で進行役を担う人材を育成するとともに、講座修了者を対象にフォローアップ研修を実施し、子育てサポーターリーダー*のスキルアップを図った。</p>	<p>○各種講座修了者の地域での活躍を促すため、地域活動との連携が必要である。</p> <p>○様々な生涯学習活動において支援制度が活用されるよう、制度の周知が必要である。</p> <p>○多くの子育てサポーターリーダーが活躍できるように工夫する必要がある。</p>	<p>○学習成果を地域活動の中で実践できるよう促すことで、学びの循環を図る。</p> <p>○様々な生涯学習活動において支援制度が活用されるよう、学習情報紙やホームページ等を通して制度の周知を図る。また、補助金交付団体の活動内容の周知や活動支援を行う。</p> <p>○子育てサポーターリーダーのスキルアップや協力体制を整えるなかで、「親プロ」出前講座の運営を充実させる。</p>			
実績数値					
【ふくやま人財大学*の受講状況】					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
延べ受講者数	2,767人	2,690人	2,132人	622人	801人
【生涯学習振興基金活用の状況】					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
補助金交付団体数	10団体	10団体	7団体	5団体	13団体
【「親プロ」養成講座等の参加状況】					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
子育てサポーターリーダー養成講座修了者数	7人	11人	9人	8人	10人
子育てサポーターリーダーフォローアップ研修参加者数	30人	33人	13人	— (未実施)	22人
【「親プロ」ファシリテーター登録人数・延べ活動人数】					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
子育てサポーターリーダー養成講座登録人数 (活動可能人数)	86	75	83	84	89
子育てサポーターリーダー延べ活動人数	190	166	174	33	25

主な取組	(2) 学習成果を活動につなげる仕組みづくり				
概要等	課題			今後の方針	
公民館等での学びのネットワークづくり					
<p>○地域の学習の交流拠点として、団体や組織、また、住民同士のつながりを促進し、地域における学びのネットワークづくりを推進する。</p> <p>○公民館等で活動しているグループ・サークルの紹介やインターネットを通じた講座等の情報提供を行う。</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、グループ・サークル間の交流は困難な状況となっている。</p>			<p>○感染症対策を徹底して活動するグループ・サークルの活動を支え、活動内容が地域活動に広く還元されるような関係づくりに取り組む。</p>	
学びのネットワークの支援					
<p>○各地域振興課*が地域住民や団体との協働で開催するイベントにおいて、参画する団体やボランティア間でネットワークづくりが図られ、学習成果を発揮する場になった。</p> <p>○読み聞かせ講座受講者に、図書館やボランティア団体等の読み聞かせの状況を説明した。</p>	<p>○イベント等での連携を、団体活動の地域活動との継続した連携につなぐ必要がある。</p> <p>○読み聞かせ講座受講後に、受講者が活動できる支援を行っていく必要がある。</p>			<p>○ボランティアなどが地域で活動できるよう、地域ニーズに即したマッチングを行い、ボランティアやグループ・サークル、NPO等の活動が、地域活動に広く還元されるよう取り組む。</p> <p>○受講者が習得した知識や技能を活かした活動ができるよう、関係団体との連携を図る。</p>	
実績数値					
【公民館グループ・サークルの状況】					
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
公民館グループ・サークル数	1,828	1,812	1,805	1,792	1,863